

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2016 実施要領

1 趣旨

広島県は、魅力ある建築物が県内に持続的に創造されていく環境づくりに向け、クリエイティブな人材の育成に取り組んでいます。この設計コンペは、人材育成の一環として、県内の建築学生を対象に、小規模な公共建築物の設計コンペを実施するものです。

本設計コンペにおいて選出された最優秀作品の提案者は、担当教授等の指導の下、県による実施設計及び工事監理を監修し、提案の実現に取り組んでいただきます。

2 対象建築物

「野球部弓道部部室」(広島市南区出汐 2 丁目 4 番 75 号)

既存野球部弓道部部室が位置する広島県立広島工業高等学校は、広島市南区にあり、平成 24 年に創立 115 周年を迎えた伝統のある高等学校です。また、野球やサッカー、ラグビーの全国大会出場校としても著名で、多くのスポーツ選手を輩出しています。

その多くのスポーツ選手が使用してきた野球部弓道部部室は、老朽化が進み、使いにくいなど利便性・快適性が課題となっています。

このため、コストを抑えた上で、機能を最大限発揮できる新しい部室を建築することとしました。

誰もが心地よく使い、部活動に精を出せる部室とし、魅力的な部室を目指します。

3 テーマ

「未来をつくる部室」

同じ思いをもつ学生同士が集まる部室。青春の思い出が詰まった場所です。一方で、部室は、教室では学べないことを学ぶ場所という側面があり、社会的にみれば、そこでの濃密な活動を通してたくましい人格を形成するウツワであるともいえます。部室の設計には、使い勝手、快適さ、耐久性だけでなく、部活に対するプライドを受け止めることができるような普遍的な価値をつくることが大切そうです。

部室は未来をつくっている、そうした思いをもって、クリエイティブで、かつ実現可能性のある建築を設計してください。

(審査委員長 乾 久美子)

4 審査基準及び方法

(1) 審査基準

本設計コンペの選考は、「3 テーマ」を中心に、「8 設計条件」に基づき、デザイン、使いやすさ、維持管理及びライフサイクルコストへの配慮などを勘案し、総合的な観点から審査を行います。

(2) 審査方法

審査は2段階選抜方式とします。

「6 審査委員会」が審査を行い、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品数点、審査委員長特別賞作品数点を選定します。

ア 1次審査

1次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を5点程度選定します。

詳細は、「11 1次審査」をご覧ください。

イ 2次審査（最終審査）

2次審査（最終審査）は公開審査とし、応募者本人によるヒアリングにより、提案の内容と実現性を審査し、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品数点、審査委員長特別賞作品数点を決定します。

詳細は、「12 2次審査（最終審査）」をご覧ください。

5 日程

区 分	日 程（案）
実施要領配布開始	平成28年7月12日（火）
応募登録申込受付期間	平成28年7月12日（火）～平成28年8月26日（金）
質疑受付期限	平成28年8月26日（金）
提案作品受付期間	平成28年8月29日（月）～平成28年9月26日（月）
1次審査結果発表	平成28年10月上旬
最終審査（公開審査） 及び審査結果発表	平成28年11月6日（日） 午後1時から午後5時まで

6 審査委員会

本設計コンペの審査は、次のひろしま建築学生チャレンジコンペ2016審査委員会が行います。

区 分	氏 名	所属等
審査委員長	乾 久美子	乾久美子建築設計事務所，横浜国立大学大学院Y-GSA教授
審査委員	藤本 寿徳	藤本寿徳建築設計事務所
	中蘭 哲也	ナフ・アーキテクト&デザイン，崇城大学准教授
	樽谷 敏治	広島県教育委員会事務局管理部長
	宮地 正人	広島県土木建築局建築技術部長

7 担当課

〒730-8511 広島市中区基町10番52号

広島県土木建築局営繕課（営繕企画グループ）

電話：082-513-2311 ファクシミリ：082-224-6411

電子メール：doeizen@pref.hiroshima.lg.jp

本設計コンペに関する問い合わせは担当課に行うこととし、施設管理者へ直接問い合わせることは厳に禁止します。

本実施要領及び様式のダウンロード先URL：

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/miryoku/challe-com2016.html>

（広島県土木建築局営繕課 魅力ある建築物創造事業サイト内「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2016」のホームページ。以下「県HP」という。）

8 設計条件

(1) コンセプト

「未来をつくる部室」

※ その他建築物の計画に関する配慮について

一般的に建築物に求められる次の各項目については、明らかに配慮に欠けるものは選考に影響することとしますので留意してください。

ア ライフサイクルコストへの配慮

コストと耐久性の両面から工夫し、工事費や維持管理費等のライフサイクルコストの低減に配慮すること。

なお、必ず工事費以下とすること。

イ 効率的な維持管理への配慮

清潔に保ちやすく、清掃・補修等が容易なこと。

(2) 敷地条件

- ア 所在地 : 広島市南区出汐 2 丁目 4 番 75 号
- イ 敷地面積 : 59,602 m² (部室計画位置は計画敷地図参照)
- ウ 区域区分 : 都市計画区域内 市街化区域
- エ 用途地域 : 第一種住居地域
- オ 建ぺい率 : 60%
- カ 容積率 : 200%
- キ 防火地域 : 準防火地域
- ク 道路 : 幅員 37.0m
- ケ 景観条例 : 一般区域内
- コ 公共下水 : 処理区域内
- サ 上水道 : 上水道

(3) 設計と条件

ア 建物概要

○ 新設 野球部弓道部部室 (既存部室を解体し、現在地に建替え)

構造 : 指定なし

延床面積 : 170 m²程度

階数 : 平屋建て

(既存 野球部弓道部部室)

構造 : 木造

延床面積 : 275.00 m²

階数 : 平屋建て

イ 工事費 : 3,500 万円以下 (税込み)

※ 上記工事費内で、実現可能な提案とすること。なお、工事費には建築工事費 (既存部室の解体撤去工事費を含みません。)・電気設備工事費・機械設備工事費が含まれます。

※ 工事費の積算は、公共建築工事積算基準を参考としてください。なお、工事費には、直接工事費の他、共通仮設費や現場管理費などの共通費が含まれます。

ウ 部室計画位置：別紙 計画敷地区の建築可能範囲内に計画してください。

エ 所要室

室名	面積	備考
野球部部室	100 m ² 程度	約 100 名の部員が使用します。 マネージャーが使用する資料棚を 1.5 m ² 程度、部員が使用する ^{※1} 更衣棚を 15.0 m ² 程度計画してください。
野球部器具庫	10 m ² 程度	部員が使用する ^{※2} 道具棚を 4.0 m ² 程度計画してください。
弓道部部室・倉庫	60 m ² 程度	約 30 名の部員が使用します。
合計	170 m ² 程度	

※1 靴（幅 40cm、高さ 55cm、マチ 25cm）、制服、グローブを収納できる棚が 120 個分収まるよう計画してください。

※2 バット、ヘルメットが置ける場所、またボール等を入れるコンテナケース（幅 62 cm、奥行 43 cm、高さ 30 cm）が 10 個程度収まるよう計画してください。

オ 所要屋外スペース

次の屋外スペースを設置します。設置可能となるよう、スペースを確保してください。

空間名	面積等	備考
シャワースペース （将来設置予定）	合計 15 m ² 程度	野球部部員が練習の汗を流すために使用します。
手洗い場 （将来設置予定）		
洗濯機置場 （将来設置予定）		部員の練習着やユニフォーム等を洗濯するため洗濯機を設置します。
足洗い場	適宜	1 箇所設置してください。

キ 留意事項

- ・ 部室は現在地に建替えます。
- ・ 計画地北側は弓道場は弓道部の部活動に使用します。計画地東側のグラウンド及計画地南西側サブグラウンドは野球部の部活動に使用します。弓道場、グラウンド及びサブグラウンドからの動線に配慮して計画してください。
- ・ 弓道部部室の出入口が、弓道場の出入口とできるだけ近接するように計画してください。
- ・ グラウンド側、サブグラウンド側の防球ネットがないため、部室が隣接する弓道場への防球の役割及び風雨除けの役割を果たすよう配置してください。
- ・ 部室内は土足とします。土間コンクリート仕上げとしてください。
- ・ 所要室の天井高は 2.7m 以上確保してください。
- ・ 部室の開口部については、風通しをよくするため、できるだけ広くし、多く設けてください。
- ・ 野球部器具庫は、敷地東側のグラウンドから直接出入りできるようにしてください。
- ・ 野球部部室の資料棚・道具棚について、入口から部屋全体の様子が見えるよう高さを抑えて計画してください。

(4) ローコストへの配慮について

(3) 記載の予定工事費内で、実現可能な提案とすること。公共施設の積算基準の内容等について指導教員から指示を仰ぐなど、ローコストへの配慮をお願いします。

近年、公共事業の予算の縮減が進み、事業に対する費用対効果について強く求められており、このような状況の中、今回の部室は厳しい工事費予算となっています。

そうした中、「未来をつくる部室」をローコストで設計するという課題も、今回の大きなテーマのひとつとなります。コストと建物の魅力をどうやって両立させるか、ハードのみならずソフト面から様々な工夫やアイデアを提案してください。

(5) その他の条件

検討にあたっては、上記(1)～(4)に留意してください。

なお、本設計コンペにおいて選定された最優秀作品は実際に事業化されるため、優れた提案であることと同時に特にコスト、構造、施工性について、実現可能性を有していることが求められます。

9 参加者の資格

広島県内に所在する大学、大学院、短期大学、高等専門学校（専攻科）、専修学校（専門課程）、各種学校、高等学校の建築関連学科に在籍する学生であること。

上記の学生により構成されたグループによる応募も可とします。なお、同一の学校の学生によるグループに加え、複数の学校の学生により構成されたグループも可とします。ただし、高等学校の学生と高等学校以外の学生のグループは不可とします。

※ 平成28年7月12日現在、在籍中であること。

※ 建築関連学科とは、建築学科、インテリアデザイン学科など、建築設計に関する授業を行っている学科をさします。

10 手続き等

(1) 応募登録書の提出

本設計コンペに参加しようとする者は、応募登録書（様式1）を提出してください。

事務局は、応募登録書の受け付け後、参加資格を確認した上で、登録番号を交付し書面及び電子メールにより応募登録者に通知します。

事務局から登録番号の交付を受けた応募登録者に限り、提案作品の提出を行うことができます。

ア 受付期間

平成28年7月12日（火）から平成28年8月26日（金）まで（必着）

イ 提出書類

応募登録書（様式1）を、1部提出してください。

ウ 提出場所及び方法

担当課へ電子メール、持参又は郵送（書留郵便等の配達記録が残るものに限る。以下同じ。）してください。提出に要する費用の負担は提出者の負担となります。

持参される場合は受付期間の広島県の休日を定める条例（平成元年条例第2号）に基づく県の休日（以下「休日」という。）を除く毎日9時から17時までとします。

郵送の場合には8月26日（金）必着とします。

エ 担当教授等の承諾

最優秀作品に選定された提案者は、第1候補者として担当教授等の指導の下、実施設計及び工事監理を監修していただきます。応募登録にあたっては、あらかじめ、担当教授等に承諾を得た上で、その旨を記載し応募してください。

なお、担当教授等とは、提案書の所属学校に勤務する担当教員や教授等とし、非常勤講師等は除きます。

(2) 提案作品の提出

提案作品の提出は、次のとおり行ってください。

なお、応募者1者（又は1グループ）は1つの提案作品を提出することができます。

ア 受付期間

平成28年8月29日（月）から平成28年9月26日（月）まで（必着）

イ 提案図書

次の図書を、それぞれ1部提出してください。なお、提案図書は返却しませんので、必要に応じて事前に複製しておいてください。

(ア)「3 テーマ」「8 設計条件」に照らし合わせて配慮した設計趣旨、配置図（平面図兼用可）、平面図、立面図、断面図（縮尺自由）、外観スケッチなど設計意図のわかる提案書（A1用紙、片面横使い、1枚）

提案書には、用紙右上の角（縦2cm×横5cmの範囲内）に、応募登録書受付後に交付した登録番号を記入してください。

※ 審査の過程で応募者の匿名性を確保する必要があることから、提案書には応募者が特定できる事項等を記入することはできません。

(イ) 作品提出届（様式3）

ウ 提出場所及び方法

担当課へ持参又は郵送してください。提出に要する費用の負担は提出者の負担となります。

持参される場合は、受付期間のうち、休日を除く毎日9時から17時までとします。

郵送の場合は、9月26日（月）必着とします。

11 1次審査

(1) 審査の方法

1次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を5点程度選定します。なお、高等学校の学生の提案作品から少なくとも1作品は入選案を選定するものとします。

(2) 審査の基準

「4(1) 審査基準」のとおりです。

(3) 1次審査結果の発表方法

1次審査結果は、平成28年10月上旬に県HPで発表します。また、1次審査通過者には直接通知し、2次審査の案内を併せて行います。

12 2次審査（最終審査）

（1）審査の方法

2次審査（最終審査）は公開審査とし、ヒアリング（応募者本人によるプレゼンテーションと審査委員会による質疑応答）により、提案の内容と実現性を審査し、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品数点を決定します。

（2）審査日及び会場

審査日 平成28年11月6日（日）

会場 広島県立美術館講堂（予定）

（3）審査の基準

「4（1）審査基準」のとおりです。

（4）ヒアリングの実施

ヒアリングは、応募者本人によるプレゼンテーションと審査委員会による質疑応答により行います。

プレゼンテーションの方法は、発表時間15分以内で、提案図書による説明のほか、模型等を作成し、これを用いた効果的な説明を行ってください。また、PC利用のプレゼンテーションソフトによるプロジェクターを使用した説明も可能です。詳細は1次審査の選考通過者に通知します。

2次審査に応募者（グループの場合は、代表者）が欠席の場合は、棄権として取り扱い、審査の対象から除外します。

（5）2次審査（最終審査）結果の発表方法

2次審査の選考結果は、当日会場にて発表し、併せて表彰を行います。また、後日、選考経緯及び講評とともに県HP上で公表します。

13 現地調査

現地調査日は平成28年8月1日（月）午前10:00～12:00のみとします。参加される場合は7月27日（水）までに現地見学申込書（様式4）を広島県土木建築局営繕課（082-513-2311）にファクシミリ又は電子メールでご提出ください。

なお、現地見学に参加される場合は、校内の駐車場はご利用できませんので、公共交通機関等をご利用ください。当日は、指定された時間内に限り、現地を見学することが可能です。また、指定された日時以外は、本設計コンペの現地調査目的では、現地を見学することができませんので、ご了承ください。

なお、施設管理者へ直接問い合わせることは厳に禁止します。

14 実施要領に関する質問の受付及び回答

（1）質問の受付

質問は、質問内容を簡潔にまとめ、郵送、ファクシミリ又は電子メールで担当課へ提出してください。

なお、質問書（様式2）には、質問者の氏名、所属、電話、ファクシミリ番号及び電子メールアドレスを併記してください。

（2）質問の受付期間

平成28年8月26日（金）まで

(郵送の場合は8月26日(金)必着とします。)

(3) 質問に対する回答

質問に対する回答は、順次、県HP上に掲載します。

なお、最終回答は、平成28年8月29日(月)までに県HP上に掲載します。

回答は、実施要領の追加又は修正とみなします。

15 最優秀作品の取扱い

県は、最優秀作品を基に、実施設計を行います。なお、実施設計は、県が別途業者選定を行い、実施設計業務を委託します。最優秀作品を提案した者は、第1候補者として担当教授等の指導の下、実施設計及び工事監理の監修をしていただきます。なお、担当教授等の監修については、広島県が県の取り決めに準じて費用負担いたします。

最優秀作品の提案者は、提案図書について基本設計書に編集し直して、広島県(実施設計受託者)に提出をお願いすることとなりますのでご了解ください。

16 その他の留意事項

(1) 応募登録書の提出日以後、選考結果の公表の日までの間に、応募登録者が次の各号のいずれかに該当したときは応募登録を取り消します。

ア 提案作品提出期限に遅れた者又は提案図書に不備がある者

イ 応募登録書及び提案図書に虚偽の記載をした者

ウ その他、審査委員会が不適格と判断した者

(2) 本設計コンペに係る登録料は無料ですが、応募登録、質疑及び提案図書の提出、2次審査等に関する費用は応募者の負担とします。

(3) この要項に定める手続きを郵送若しくは電子メールにより行う場合は、必ず担当課への到達を確認してください。

提案図書を持参する場合は、期間内の月曜日から金曜日(休日を除く)の午前9時から正午までと、午後1時から午後5時まで受け付けます。

(4) 提出物等は一切返却できません。

(5) 提出された提案図書の著作権は、その提出者に帰属することとします。なお、最優秀作品の使用権は本県が無償で譲り受けます。

(6) 提出された応募登録書は、提案図書の提出者の選定以外に提出者に無断で使用しません。

なお、選定に必要な範囲において複製を作成することがあります。

(7) 提案図書及び審査過程は、県HP等に掲載し公表する予定です。

(8) 他者の著作権に抵触する画像、文書などの使用は認めません。また、雑誌、書籍、ホームページ等からの無断借用も認めません。

入選後に著作権侵害などの疑義が発覚した場合、これを取り消します。また、提出作品について著作権侵害等が発覚した場合、全ての責任は応募者が負うものとなります。その他第1候補者としてふさわしくないことが発覚した場合、県は、審査委員会と協議の上、第2候補者の案を採用することがあります。

(9) 本設計コンペの応募登録や応募に際して記入いただいた氏名・住所・所属等の個人情報は、統計的な応募集計に利用することとしており、当関係者以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。

ただし、入賞者に関しては、入賞作品とともに、氏名・所属等を県HPやマスコミリリース等で広く公表することとしておりますので、ご了承ください。

- (10) 施設管理者へ電話等により直接問い合わせることは厳に禁止します。
- (11) 実際に建築する際には、最優秀作品の提案趣旨を十分に尊重して実施設計・工事監理を行いますが、法規上及び予算上等の理由により、協議の上、提案内容を一部変更する場合がありますのでご了承ください。
- (12) 今後の社会情勢や財政事情の変化、その他不可抗力等により、事業計画の変更又は中止をする場合があります。この場合、参加者に対して県は一切の責任を負わないものとします。
- (13) この要領に定めることのほか、本設計コンペを行うために必要な事項が生じた場合は、本県が委員会と協議の上、これを定め、応募者に通知します。

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2016 応募登録書

広島県知事 様

「ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2016」への参加を、実施要領等の内容を十分に了解した上で、希望します。

この応募登録の記載事項は、事実と相違ありません。

平成 28 年 月 日

応募者情報	氏名	
	氏名ふりがな	
	生年月日（西暦）	
	年齢（平成 28 年 月 日時点）	
	実施設計及び工事監理の監修	<input type="checkbox"/> 承諾する
連絡先情報	住所	
	郵便番号	
	電話番号	
	メールアドレス	
	F A X 番号（任意）	
所属等情報	所属学校名	
	学部等	
	学年（任意）	

※ グループで応募する場合は、上記記入欄（応募者情報、連絡先情報、所属等情報）を適宜追加して記載してください。

※ グループで応募する場合は、代表者 1 名を明示してください。

※ 実施設計及び工事監理の監修については、承諾することを条件とします。

担当教授等※	担当教授等所属	
	担当教授等氏名	
	実施設計及び工事監理の監修	<input type="checkbox"/> 承諾する

※ 担当教授等欄は、必ず記載してください。

※ 実施設計及び工事監理の監修は、必ず担当教授等の承諾を受けてからチェックを入れてください。

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2016 質問書

平成28年 月 日

応募者情報	氏名	
	所属学校名若しくは登録番号	

件名	
内容	

ひろしま建築学生チャレンジコンペ2016 作品提出届

広島県知事 様

「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2016実施要領」に基づき、提案作品を提出します。

平成28年 月 日

応募者番号	
-------	--

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2016 現地見学申込書

広島県知事 様

「ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2016」に係る現地見学への参加を希望します。

平成 28 年 月 日

参加者名※	氏名	
	氏名ふりがな	
連絡先情報	住所	
	郵便番号	
	電話番号	
	メールアドレス	
	FAX番号（任意）	
所属等情報	所属学校名	
	学部等	
	学年（任意）	

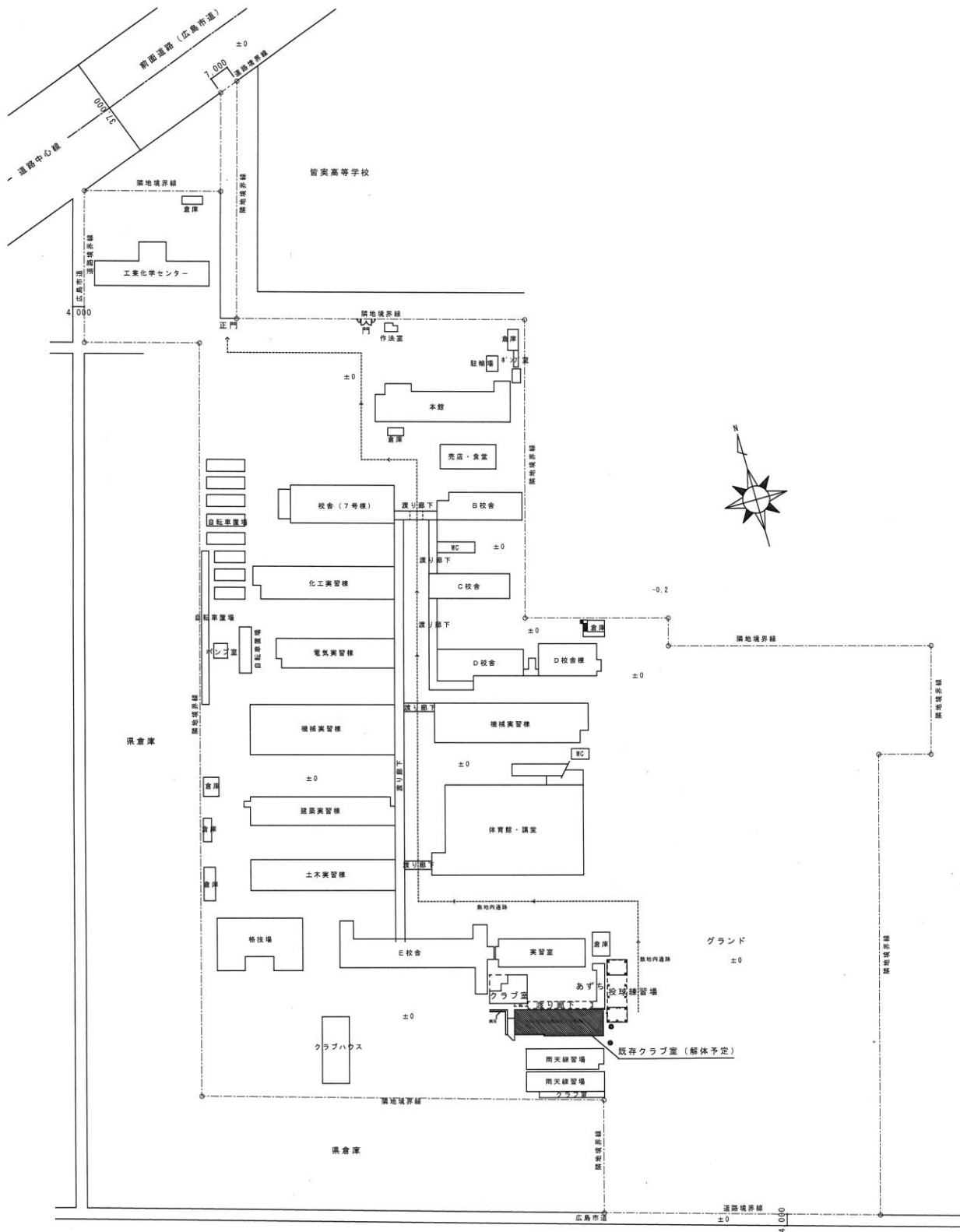
※同一の学校から複数名参加される場合は、適宜参加者名欄を追加してください。

地理院地図

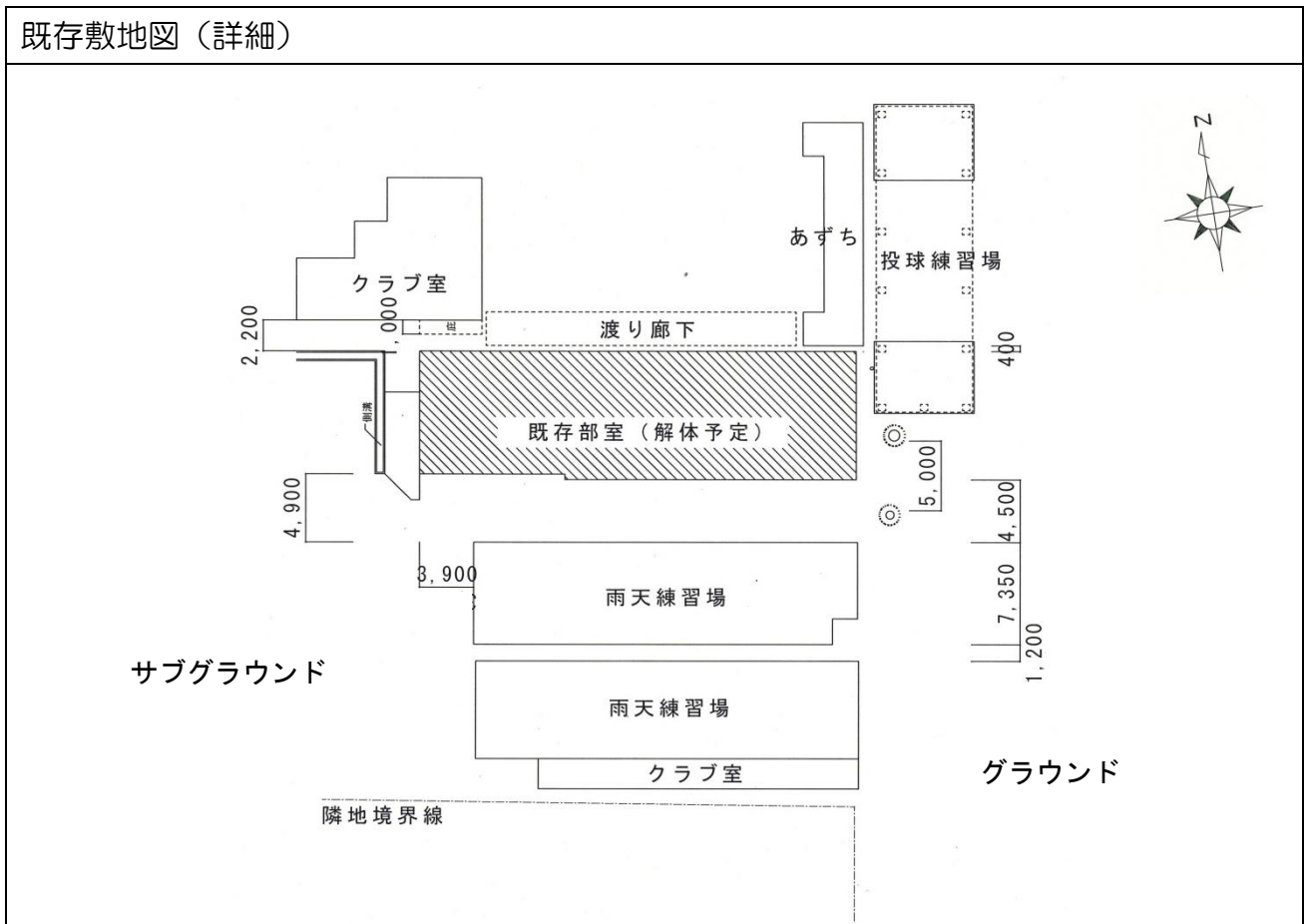


建設予定地

既存敷地図（全体）



既存敷地図（詳細）



計画敷地図

